令和 4年度 施策評価シート（令和 3年度実績評価）

政策 01 安全・安心に暮らせるまち

施策 02 循環型社会の形成

主管課： 生活環境課

関係課：

1 施策の目的

対象（誰、何を対象としているか） 市民，市内事業者	意図（どのような状態にしたいのか） 市内から排出される廃棄物の量が抑制されたまちをつくる。
------------------------------	--

2 施策の成果状況（意図の達成度を図る成果指標とその動向）

常総環境センターへのごみの搬入量（1人1日当たり換算）						(g)	生活環境課
基準値 (H26)	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	目標値 (R03)	
737.00	728.00	721.00	734.00	738.00	719.00	667.00	
向上指針	下がると良い	(状況) 令和3年度のごみの搬入量は719gで、前年度比19g減少(△2.6ポイント)し、基準値は18g下回りましたが、目標値を52g上回っています。 (原因) 搬入量の前年度比較では、家庭系の可燃ごみが123t、不燃ごみが168t減少したため、1人1日当たりの搬入量も減少しています。この主な原因は、コロナ禍における新型コロナウイルス感染予防と経済活動の両立を図るための「新しい生活様式」の実践が浸透し、事業等の活動が徐々に再開されたことから、家庭から排出されるごみが減少したものと考えられます。					
対前年度	向上						
目標達成度	中						
次年度課題	課題とする						

基準値 (H26)	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	目標値 (R03)
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
向上指針						
対前年度						
目標達成度						
次年度課題						

基準値 (H26)	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	目標値 (R03)
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
向上指針						
対前年度						
目標達成度						
次年度課題						

3 施策に係るコスト（単位：千円）

	R01年度 決算	R02年度 決算	R03年度 決算	R04年度 予算	R05年度 見込
事業費合計	622,883	642,163	735,008	732,010	745,088
人件費	17,343	15,183	12,867	0	0
トータルコスト	640,226	657,346	747,875	732,010	745,088

4 基本事業の状況

基本事業名称	成果指標の動向					事業費				
						R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度
01 ごみの減量化	向上	横ば				3,956	3,371	2,919	4,836	4,836
02 再資源化への取組	横ば	横ば				0	0	0	0	0
03 廃棄物の適正処理	低下	向上				618,409	638,339	731,600	726,719	739,797
99 施策の総合推進						518	453	489	455	455

5 施策全体の取組状況と課題

前年度の取組内容、成果及び次年度以降に向けた課題

<p>計画的な廃棄物処理を推進するための基本方針である「守谷市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画」を策定し、ホームページにおいて周知しました。また、ごみの減量化や再資源化を図るため、根幹的な方策であるごみの分別（5種16分別）の徹底に向けて、転入者等に手引きを配布し、広報紙に特集記事を掲載して周知を図るとともに、生ごみ堆肥化と集団回収への参加世帯増加に向けて、広報紙等において周知しました。</p> <p>今後の課題としては、人口増加に伴いごみ総排出量が増加しているため、上記計画に基づき、1人1日当たりの家庭系ごみ総排出量を減量する必要があります。</p>	推進状況	一部停滞あり
	次年度への課題	課題あり
	成果方向性	向上
	コスト方向性	増加

当該年度の全庁決定の方向性（前年度の全庁政策会議での決定事項）

<p>ごみの減量化と再資源化を促進するため、令和4年度から13年度を計画期間とする「守谷市一般廃棄物処理基本計画」に基づき、市民・事業者に対して、ごみの5種16分別による減量化と再資源化について、周知・啓発に取り組みます。その一環として、生ごみのたい肥化と集団回収への参加世帯の増加を図るため、広報紙等による周知に取り組みます。</p> <p>また、不法投棄監視員や地域住民の協力を求め、県・警察と連携し、監視の目を強化することで、不法投棄の抑止を図り、ごみのないまちを目指します。</p>	成果方向性	向上
	コスト方向性	維持

次年度の方向性

<p>ごみの減量化と再資源化を促進し、常総環境センターのごみ処理のひっ迫状況を解消するため、「守谷市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画」に基づき、市民・事業者に対して、広報紙・ホームページ等の媒体や廃棄物減量等推進員の活用により、ごみ分別の徹底について周知・啓発に取り組みます。さらには、施策の一環である生ごみ堆肥化と集団回収への参加世帯の増加を図るため、広報紙等による周知に取り組みます。</p> <p>また、環境の保全を図るため、不法投棄監視員や地域住民の協力を求め、県・警察と連携し監視を強化して不法投棄の抑止に取り組み、ごみのないまちを目指します。</p>	成果方向性	向上
	コスト方向性	維持